

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

99/11/30 Vol. 17 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX
45-8362

E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市市議会 12 月定例会が開催されます。

今回の定例会は 1 日（水曜日）から 17 日（金曜日）まで行われます。

（12 月定例会では、平成 10 年度印西市各会計歳入歳出決算認定や印西市市道認定（市道 00-031 小林地区～別所地区 / これから造成して行く牧の原駅北西側）他についての審議が行われます。）

「ぐんじとしのり」は、1 日（水曜日）午後 3 時位から（正確な時間は不確定です。）

決算報告と公会計の導入のあり方を中心にまちづくり研究会（代表：松本隆志）を代表し、代表質問（90 分）に立ちます。（その内容は後述します。）

お時間があるかたは、是非とも傍聴にお越しく下さい。

（「介護保険制度」については、私と同じ会派の松本隆志議員が会派一般質問に立ちます。）

傍聴を希望される方は、印西市役所 5 階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は 36 名です。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり 12 月度定例会 代表質問内容

以下の内容を議会事務局に既に提出し、今回の議会で質問に立ちます。

1) 決算書と公会計の導入について

現在の決算書からは現在の市が保有する財産や将来の負担となるべく負債の状況がよみとれず、『資金繰り』の報告のように感じる。

市政の透明性を高め、市が市民に対して市政の状態を数字をもって明確にする「説明責任」を果たすためには、市の会計制度の改革に着手すべきであると考えます。

- あ) 現在、市では決算に関する書類をどこまで公開し、それはどのように市民に提示されているか？
- い) 市の会計制度改革については、公会計制度（バランスシート）の導入が考えられるが、市としては先進自治体を把握し、職員が研修に出向いたことなどの実例はあるのか？
- う) 同様に今、公会計制度導入にむけて多くの勉強会がひらかれていますが、参加した実例はあるのか？

2) 印西市のゴミ問題とリサイクルについて

2000 年以降より施行される 2 つの大きなリサイクル再商品化法についての準備状況を確認します。

- あ) 市内で現状の分別回収状況について / 正しく回収され、市からの広報も万全か？
- い) 容器包装リサイクル法実施にむけて
プラスチック製容器包装の分別回収についての準備状況はどのようになっているか
中間処理業者の選定状況は終わっているのか
- う) 特定家庭用機器再商品化法実施にむけての準備状況について
現在の粗大ゴミとしての取り扱いはどのようになっているのか？
（どこにゴミとして保管し、処理を行っているのか？）
施行後、市では再商品化を考えているのか？
業者（引き取り）との話し合いはすすんでいるのか？

3) 牧の原地区の将来像と駐車場問題について

- あ) 印西市として1999年に取り組んだ牧の原駅圏の事業および、公団、企業庁、千葉県等にアプローチした実績および成果を教えてください。
- い) 2000年にむけて、北口商店街の竣工までの具体的な実績および成果を教えてください。
- う) 商業施設、公共施設がないこの地区では一家に2台車を保有する世帯が多く見受けられるが、路上駐車も多い。市として駐車場の新設/増設に対する考え方はどのようなものがあるか? また、明らかに危険な場所に停めてある車両の取り締まりについてはどのように考えるか?

これらの質問に関する市当局の回答、および他の議員より同様に提出されている質問に対する回答は、次回以降の「みどりみらい」にて報告をしたいと思います。

介護保険の現状と市の現況(2)

10月1日より、「認定申請」が始まっております。(11月17日現在、市内全域で273名の方が申請に訪れています。しかし、市の予測では578名となっておりますので、半分にも満たない数字です。)

この制度はまず、認定申請を行い、認定を受けることによりサービスの開始の入口にきますので、申請が済んでいない方はお早めに申請されることをおすすめします。

(申請に必要なもの/要介護・要支援認定審査書、主治医の意見書)

問い合わせ先 / 市役所 介護福祉課資格管理係 42-5111(内線314/315)

(認定申請から認定まで)

申請(主治医意見書を併せて介護福祉課に持参) 訪問調査(市の職員による)
一次判定(コンピュータ) 二次判定(介護認定申請会) 認定

- * 来年度以降は、内容(流れ)が異なります。
- * 認定は6ヶ月(短縮/延長あり)ごとに見直されます。
- * 認定結果は平成12年1月頃に市より郵送にて通知されます。(認定後に、「介護サービス計画」の作成を行い、4月以降のサービス開始に備えます。)

鉄道問題を考える(6)

千葉県と財政支援

県からの支援が打ち切られる可能性がでてきました。これは千葉県が、昭和60年以来、北総開発鉄道社の経営安定化のために毎年行ってきた財政支援が、来年度予算の概算枠に計上されていないためです。そのため、私と松本隆志議員で構成する会派「まちづくり研究会」では、10月下旬に「千葉県の北総開発鉄道財政支援事業が平成12年度以降も継続して行われるように、関係市町村と共同して千葉県に働きかけるよう」に海老原市長に申し入れを行いました。千葉県が支援を中断すれば赤字経営の続く会社は『値上げ』に動くことは必至であると思います。そのために千葉ニュータウンの市長村長らが千葉県に強く働きかけることが緊急に求められていると思います。(尚、海老原市長は中村白井町長と共に後日千葉県に支援継続についての要請に行ったそうです。)一部の住民の間には、北総開発鉄道社や都市基盤公団の責任を追及する声もあるようですが、その高額運賃の原因は鉄道会社の努力不足や放漫経営などにはありません。

次回以降、この問題に関して更に研究/報告して行きたいと思います。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。市政への提言を心よりお待ち申し上げます。まだまだ勉強不足です。皆様と、牧の原の、印西市の将来を考えて参りたいと思います。今後ともご指導/ご支援よろしくお願い申し上げます。 ぐんじとしのり